

## お母さんがつかれている

宿題しゅくだいをしていると、お母さんかあが帰かえってきました。わたしは、

「おかえり。」

と言いいました。お母さんかあは、元げん気きのない顔かおで、

「ただいま。」

と言いいました。わたしは、しんどいのかおもなと思って、

「どうしたん。」

と言いいました。お母さんかあは、

「つかれてんねん。ねさせてな。」

と、下したを見みながら言いいました。

お母さんかあは、ひきつぱなしだったふとんに、着きがえないでねころ転ころびました。お母さんかあが、  
「6時じに起おこしてや。」

と、小ちいさな声こえで言いいました。

お母さんかあは、朝あさ早くから、運うん送そう会がい社しゃで働はたらいています。トラクおおクに大はこきな箱なんを何なんこも  
つんで、配はい達たつをしています。

お母さんかあがねている間あいだ、宿しゅくだい題だいをしみたり、テレみビを見みたりしていまみした。テレみビは、  
音おとを小ちいさくして見みました。

4時じごろ、時と計けいを見みました。5時じすぎにも、時と計けいを見みました。

テレみビを見みていて、もう6時じやなおもと思おもいました。

それで、お母さんかあの部へ屋やへ行いきました。わたしは、

「6時じやで。」

と、ふとんうえの上うからゆずいって言いいました。

お母さんかあは、ゆおっくり起おきて、ご飯はんの用よう意いを始はじめました。お母さんかあは、何なにも言いわないないかいつたいけど、わたしは、茶ちやわんやわんやおわんやはししやコこップをはんならべはました。ご飯はんもよよそそいまいました。

ご飯はんの用よう意いがたできて、お兄にいちゃんたとわはたしはが食はじべ始はじめたら、お母さんかあは、

「もうちよちっとねねるわ。」

と言いったので、わたしは、

「大だいじぶよう夫ふ。かかぜひひいたん。」

と聞ききました。お母さんかあは、

「大だいじぶよう夫ふやで。かかぜひひいていへんよ。つかつかれているだけけや。」

と言いって、自じ分ぶんの部へ屋やへ行いきました。